

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2018年 第166号 平成30年6月定例会等の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

対談!

勝浦市PTA連絡協議会と 市議会



特集記事（対談） 2P・3P
審議結果（トピックス） 4P・5P
5月臨時会人事等 6P
委員会活動等 7P
一般質問 8P～11P
きみの未来、あなたの未来 12P
議会のうごき 編集後記

平成30年8月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦市PTA連絡協議会 と 市議会

特集記事第15弾は、勝浦市PTA連絡協議会のみなさんとの対談です。

子ども達の安全安心を守る取り組みが、地域と連携して始まるとのことです。



地域で子供を守っていく、見守っていくために、

議員は色々な世代の声に耳を傾けてほしい。

【勝浦市PTA連絡協議会とは、どのような団体ですか?】

勝浦市PTA連絡協議会は、勝浦市内小中学校のPTA会長、副会長、役員及び校長、教頭をもって構成されています。PTA間の連絡協調を図り、PTA活動の活性化に努めることを目的として、情報交換、PTA間の連絡調整、各会員の研究修養を図ることを目的とした団体です。

【具体的に、どのような活動をされていますか?】

主に子ども達の安全を守るための会議を開催し、また、バレーボール大会とソフトボール大会の開催を行っています。特に今年からは、勝浦市PTA連絡協議会が、勝浦警察署管内学校警察連絡委員会、勝浦市教育委員会、勝浦警察署と連携して「こども110番のいえ」「こども見守りパトロール」の活動をしていく予定です。特に子ども

達の下校時に犯罪が起きやすいと言われてしますので「パトロール中」を示すプレートでPTA役員、会員、教職員が車に貼ってパトロールし、周囲に見守りを周知する活動を行ないます。

【活動していて大変なことは?】

子どもの減少と同様に保護者の数も減り、ライフスタイルの多様化からPTA活動への保護者の温度差が大きくなったと感じています。活動の主体の

一つであるスポーツ大会では、参加できる人数を集めることが特に大変です。それから「PTA役員は受けてしまつと大変」と思われる方が多いようです。ですが、やってみると役員の用事で学校に行くことと学校行事以外の子ども達の姿を見ることができ得をしたような気持ちになったり、普段でしたら話す機会のない保護者の方と交流が持てたりしますので、もっとたくさんの保護者の方に参加していただきたいと思っています。

【皆さんが考えるこの地域の教育課題はなんですか?】

まず「しつけ」です。これは学校ではなく各家庭で、保護者にもう少ししっかりと教えて欲しいと思います。その他では地震、津波等の災害時の避難です。子ども達が部活等でいない日曜日ではなく、子ども達を含めた地域全体で実際の登下校時に避難訓練が出来たらと考えます。東日本大震災の釜石の奇跡として語り継がれている、「子ども達は率先たる避難者であれ」この言葉子ども達に学校、家庭で植え付けていかなければならないと思います。

【PTA連絡協議会として子どもを守る取り組みのために考えている事はありますか?】

最初にお話した「こども110番のいえ」「こども見守りパトロール」を市PTA連絡協議会が主体となつて今年度から取り組んでいきたいと考えています。「こども110番のいえ」は地域で子供を守っていく、見守っていくという事を前提に、地域の人達との交流の機会になれば良いと思います。

【市議会の印象や議員に望むことは?】

選挙の時だけ来て、その後は何をしているのが全く見えなと感じていました。今回の対談でざつくばらんに話を出来たのは良かったです。「みんなのギカイ」を見て、議員の皆さんが地域の声や色々な世代の声にも耳を傾けてくれているのだと身近に感じられました。これから勝浦市の為に一生懸命頑張つて貰いたいと思います。

対談に応募してみませんか?
対談を希望される団体の方は、議会
報編集委員会までご連絡ください。



総野小
廣岡 信幸 会長



興津小
中村 雅一 会長



勝浦中
田中 文江 会長



勝浦市PTA
連絡協議会会長
勝浦小
佐藤 啓史 会長



上野小
斉藤 純康 副会長



郁文小
生貫 栄一 会長



豊浜小
江沢 晃一 会長

平成30年6月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○6月定例会 会期 6月11日から6月21日まで 11日間

●審議案件一覧

結果	議案番号	件名	付託委員会
可決○	議案第30号	勝浦市税条例等の一部を改正する条例の制定について	総務文教
可決○	議案第31号	勝浦市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生
可決○	議案第32号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生
可決○	議案第33号	平成30年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教
可決○	議案第34号	平成30年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生
採択○	請願第2号	「国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	総務文教
採択○	請願第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	総務文教
採択○	陳情第5号	国に対する地方消費者行政の財政支援を求める意見書提出に関する陳情	産業厚生

●議員提出議案

結果	議案番号	件名
可決○	発議案第2号	国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書について
可決○	発議案第3号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について
可決○	発議案第4号	地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書について

○全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

議会報では、審議された全ての議案の中から市民生活と深く係わる議案をいくつが取り上げて重点的にお伝えしています。審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

国保税条例が改正され

国保税が引き下げられます。

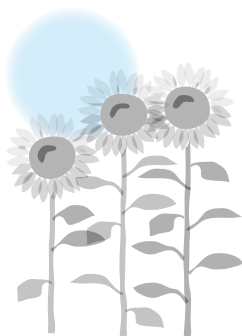
議案第三十二号

勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

平成30年度から、都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体として中心的な役割を担うこととされました。今年度から市は徴収した保険税を県に納付し、県から医療給付等に必要な資金の交付を受けることとなります。

質疑を通じ、県が示した標準保険税率に近づける改正を行うこと、平成29年度繰越金一億六四〇〇万円のうち、二千万円を引き下げの財源にあて、三千万円を財政調整資金に積立て総額を八千万円とし、残る一億一四〇〇万円を今後の国保運営の財源として留保したことが明らかになりました。

全会一致で原案は可決され、本算定により世帯当たり保険税は平均五〇二八円、一人当たり保険税は平均三五四一円引き下げられることとなります。



●トピックス その2

新たに防犯カメラが2基設置されます。

議案第三十三号 平成30年度勝浦市一般会計補正予算（第1号）

犯罪から市民を守るため、防犯カメラを2台設置します。

①設置工事費は、一〇三万七千円。

この事業については、千葉県市町村防犯カメラ設置事業補助金を活用しています（防犯カメラ1台あたり二〇万円、計四〇万円の補助金を活用しています）。

②設置予定個所は、興津小学校入口付近と上野小学校入り口付近。

③勝浦市内にはこれまでに27台の防犯カメラが設置されており、今年度2台設置されることで、計29台の防犯カメラが設置されることになります。



●トピックス その3

九都県市合同防災訓練が実施されます！

議案第三十三号 平成30年度勝浦市一般会計補正予算（第1号）

6月議会補正予算にて、地域防災対策事業費として九一八千円が計上され、可決されました。

これは、平成30年8月26日に勝浦市で実施が予定されている「九都県市合同防災訓練」実施のための諸経費で、参加医師への報償費や防災ベストなどの消耗品、防災訓練参加者輸送用バス借上料、交通誘導員や看板設置費用などが計上されました。

九都県市合同防災訓練は、東京都をはじめ千葉県や神奈川県を含む関東の9自治体が実践的な合同防災訓練を実施しようとするもので、自治体相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人ひとりの防災知識や減災への備えの向上を目指しています。

訓練の詳細については、広報かつうらや回覧板などをご確認ください。

※九都県市の構成（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、さいたま市、相模原市）

議長に岩瀬洋男氏、副議長に松崎栄二氏を選出 議会選出監査委員に末吉定夫氏を選任同意

平成30年5月臨時会が5月16日に開かれ、議長に岩瀬洋男氏、副議長に松崎栄二氏が選出されました。また、議会選出の監査委員に末吉定夫氏を選任することに同意しました。

議長

岩瀬 洋男氏



【経歴】

市議3期目・無所属65歳
議長、副議長、監査委員、
議会運営委員会副委員長
などを歴任

副議長

松崎 栄二氏



【経歴】

市議4期目・無所属65歳
監査委員、議会運営委員
長、議会運営委員、議会
運営委員会副委員長
などを歴任

監査委員

末吉 定夫氏



【経歴】

市議6期目・無所属70歳
議長、副議長、監査委員、
議会運営委員長、産業厚生
常任委員長などを歴任

議会運営委員会及び 産業厚生常任委員会 新委員長・副委員長紹介

6月6日に松崎議会運営委員長、6月11日に末吉産業厚生常任委員長から辞任願の提出があり、委員会での許可を受け、委員長との互選が行われ、6月13日の本会議内にて新委員長及び副委員長の報告が行なわれました。

議会運営委員会



委員長
鈴木 克己



副委員長
土屋 元

産業厚生常任委員会



委員長
戸坂 健一



副委員長
黒川 民雄

各常任委員会・特別委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

議案 33 号 平成 30 年度勝浦市一般会計補正予算のうち、土木費の社会資本整備総合交付金事業（勝浦荒川線の道路改良工事費、当初予算 4,000 万円＋補正予算 1,280 万円）に議論が集中しました。

Q 勝浦荒川線の道路改良工事をしない場合の問題点は。

A 開発業者が施工した仮設道路で、道路構造令に即した道路でなく安全確保ができない。

Q 仮設であれ古い道路より安全に通行できる。側溝だけ直して、他の道路に投資すべき。

A 側溝だけ単独で行った場合でも 2,000 万円から 3,000 万円かかる。

Q 出来たばかりの道路のアスファルト舗装を剥いでまで行うことを市民にどう説明。

A 三者協議により仮の道路は事業者が造り、その後、市が社会資本整備総合交付金を使って整備するのが当初からの計画。交付金を使って道路を新設する場合、道路構造令に則ったものにする義務がある。ただちに危険というわけではないが、道路に瑕疵をはらんでいる。

Q 交付金を使うと 5 割の市負担で出来るがこれを戻し、他にやってほしい場所がある。

A 交付金に対し手を下ろすことは可能だが、当初予算の段階ではなく補正予算の時にすることによって仲介してくれた県に負担をかける事態となる。

討論 委員会では否決、本会議では賛成多数で可決（賛成 10、反対 4）

原案に反対 鈴木克己議員・藤本治議員

交付金を活用して事業を行うために現在の表層アスファルト路面をすべて削り取った上であらたに道路を新設するとは、当初予算時の説明とあまりにも違う。さらに、現在の道路は危険というが、何故そのような構造で引き受けたのか。荒川線全体や市内全域をみるとより緊急性のある場所はほかに数多くある。最低限必要な道路排水施設の設置のみで対応すべき。交付金を活用し市の負担を軽くすると言っても全ては税金である。にもかかわらず今年度ただちに路面を削り、道路工事をやり直すことになれば納税者である市民の多くは「何を無駄なことをやっているんだ」と税金の使い方に大きな疑念・不審を持つことになる。補正予算からこの部分の削除を求める。

原案に賛成 黒川民雄議員・照川由美子議員

本議案には、防犯カメラの設置や衛生処理場の改修工事費、道路改良工事費及び橋りょうの架け替え工事費などが計上されており、どれも市民生活に切実に係っている予算である。

特に、道路の改良事業については、「開発業者により施工された仮の道路であり、道路構造令に則した勾配等になっていなく、勝浦警察署と道路協議を行った内容も入っていないため、安全に通行できる道路となっていない。」との見解が示された。

道路などの社会資本整備が未熟な本市においては、市の単独予算で様々な整備を行なうことは不可能であり、積極的に交付金を活用して、事業を実施していかなければならないと考える。

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会に議案 3 件・陳情 1 件が付託され、審査の結果、全員賛成で「可決」及び「採択」となり、最終日の本会議において、委員長からの審査結果報告後、採決を行い、付託された議案 2 件及び陳情 1 件は、いずれも「可決・採択」となりました。

なお、陳情の採択により、「発議案第 4 号地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書について」が産業厚生常任委員長を提案者に委員を賛成者として提案され、全員賛成で可決され、意見書を関係機関へ送付しました。

市政の「白」が聞きたい

一般質問



6月13日・14日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

6月13日			6月14日		
佐藤 啓史 議員	①子どもの安全対策について		戸坂 健一 議員	①ジオツォリズムの活用・推進について	
照川由美子 議員	②道路景観について		鈴木 克己 議員	②勝浦市消防団条例の改正について	
	①「シェアキャンパス清海学園」の活用		寺尾 重雄 議員	①元行川小学校の活用について	
磯野 典正 議員	②よりよい子育てを目指す「認定こども園」の計画			②市有遊休地の活用について	
藤本 治 議員	③郷育プロジェクト等の計画と、生涯学習推進の課題			①市営住宅問題について	
	①移住・定住施策について			②勝浦市「道の駅」基本計画（案）について	
	①生活保護の低すぎる捕捉率について				
	②道の駅の整備計画について				
	③小・中学校教職員の長時間労働の是正について				
	④小・中学校教室へのエアコン設置について				
	⑤住宅リフォーム助成の代理受領制度について				

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

防犯対策



佐藤啓史議員

Q 登下校時の防犯対策は？

A 本年5月より防災行政無線による地域見守り放送を実施している。また警察の協力を仰ぎ、不審者対応教室を実施した。

Q PTAや警察などの関係団体及び地域住民との連携が必要だ。これまでの取り組みと今後の対策は？

A 登下校時の見守り活動やパトロール、通学路点検、交通安全教室や薬物乱用防止教室、SNS等の適正使用に関する教室など防犯活動を推進してきた。今年度はさらに、こども110番のいえ、こども110番パトロール事業を実施する予定である。

Q 防犯カメラの今年度設置予定数と設置予定箇所は？

A 元興津中学校入口付近と上野小学校入口付近にそれぞれ1基設置予定である。

Q 防犯ブザーの所持状況は？

A 上野小21.5%、興津小100%、勝浦小33.2%、郁文小22.2%、豊浜小68.9%、総野小73.4%である。

地震・津波対策

Q 学校在学時に地震発生・津波警報が発令された時の学校の対応及び避難訓練の状況と今後の課題は？

A 地震・大津波警報時の避難マニュアルにより避難行動が開始される。避難訓練については、各学校において年に1回以上実施している。今後の課題としては、児童・生徒の防災に関する危機意識の醸成が重要と考えており、語り部講演会を開催する。

Q 学校外における防災対策と保護者を対象とした防災対策が重要では？

A 語り部講演会の2日目にPTA、関係団体を対象として実施する。また市PTA連絡協議会等と連携して保護者負担による非常用飲料水、非常食の整備を進めている。

道路景観

Q 道路景観、観光振興、交通安全対策、ごみの不法投棄防止等の観点から国道128号と297号の除草が必要では？

A 県に対して毎年要望している。





照川由美子議員

シエアキャンパス 『清海学園』の活用について

Q 子育てを支えるような活用を考え、各課が関連し合い、清海学園と連携してはどうか？

A 7月末の休日、子育て事業で体育館を活用予定。現在、市民への教室提供等の考えはないが、今後、事業者側と話し合う場を持ち、一関係課だけではなく各課が横断的に取り組むよう、リーダーシップを発揮していきたいと考える。

Q 開園までの過程と保育・教育課程編成等の進捗状況は？

A 本年8月までに解体

工事完了、9月着工、来年10月末竣工、32年1月に開園する予定。本年度は年齢別年間指導計画等を含め、最終的な調整を行いたいと考える。

Q 子どもの安全安心と保育内容充実に向けた指導体制は？

A 市教育委員による現地視察、学校教育指導員複数体制による指導助言、所長会議において防災防犯に関する共通認識を深めるなど、努めていきたいと考える。

『郷育プロジェクト (勝浦中)』の計画と 生涯学習推進の課題について

Q 郷育プロジェクトの実施計画は？また、今後最重要となる子ども達の命を守る災害対応教育に係る予算措置は？

A 本年度は、大森地区での稲作、鵜原海岸での地びき網体験、キャリア

教育講演会等を実施。防災教育の推進にあたっては、国や県の補助制度の活用や「勝浦市の子どもの達の教育に係る基金」からの支出を検討する。

Q 図書館の分室整備（元興津中の2階がよいと思われる）や、郷土資料室整備の見通しは？

A 耐震性や利便性、津波対策を考慮し、文化財審議委員や関係者の意見を聞いて検討していきたい。図書館分室については、興津集会所図書室を元興津中に移行し、中央図書館とネットワークを組み、機能充実を図りたいと考える。



勝浦中地びき網体験



磯野典正議員

移住・定住 施策について

Q 移住・定住施策の数字目標や施策内容について？

A 人口減少社会において勝浦の将来の命運を決める移住定住施策は非常に大切な施策である。3つのステップとして、

知ってもらい、足を運んでもらい、そして住んでいただく。段階的な思いを丁寧な受け止めていく必要がある。また数字目標は5年後の平成34年度で移住相談件数150件と設定している。

Q 移住ツアー開催の内容は？

A 昨年度は企業誘致ツアー・セミナーを開催。今年度はその対象を移住

希望者へ拡大させ、住環境や生活利便性施設等を見学していただく。

Q 移住ツアーをシングルマザーに絞り込み移住支援施策として行ったらどうか？

A 若年女性を如何に増やすかが重要。シングルマザーというターゲットを絞り込み移住施策を進めることは非常に有効であるので前向きに検討する。

Q 国際武道大学生が一人でも多く勝浦に残っていただく施策が必要だと考えるが？

A 大学との包括協定に基づいた連絡協議会をはじめ、学生支援センターや学友会関係者との協議を行っている。現在も市役所や日本武道館研修センターの職員となった学生もいるので、その動機などを参考に大学卒業後も、市内定住に向けての

情報交換や連携をしていく。

Q 交流人口と定住人口の間にある関係人口。勝浦を知る・来る。足を運ぶ回数が増え地域の方との関係が増える。それには住民の地域への誇りが大切である。市長の考える移住定住施策は？

A 住民の地域への誇りは大事なこと。勝浦市民が豊かになり、市民の平均所得の増加が地方創生で一番大切である。そんな中、今Eスポーツというものが世界中で注目されている。武道大学への提案など今後も出来るものからいろいろ取り組んでいく。





藤本治議員

生活保護の低すぎる補足率について

Q 生活保護の申請件数と保護開始件数が平成26年度は20件と15件に対し、平成27年度は8件と5件に激減している。なぜ減少しているのか。

A 平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法により、保護に至る前に自立相談支援機関から支援の機会を得ていることが要因の一つ。

道の駅の整備計画

Q ①早い段階で委託先の事業者を選定し、何をつくるかはそこに知恵を出してもらおうという意向なのか。②第2駐車場の台数120台、物販施設面積が千

平米と、たけゆらの里

の倍とされているが事業者は何を根拠にその意向を示したのか。

A ①おっしゃる通りです。②事業採算性によるものと認識。

小・中学校教職員の長時間労働の是正

Q ①長時間勤務の解決には教員数の抜本増が肝心です。国は1時間の授業に1時間程度の準備が必要との考えだが、教員一人の担当授業時間は現状どうか。

②制度上、教育公務員特例法が、4%を一律に教職調整額として基本給に上乘せする、その代わり残業代は一切払わないというものの根拠は。

A ①小学校の担任で週25時間、中学校の担任で20時間程度です。②法第13条にある「職務と責任の特殊性」がもとになっている。

小・中学校教室へのエアコンの設置について

Q ①昨年からの室温計測の結果は。②エアコン設置にどう対応するか。

A ①就業時の平均気温が27度台が5校。28度台が2校。②共通の測り方で今年度も計測を継続します。

住宅リフォーム助成の代理受領制度について

Q ①工事業者が助成金の受領を代理で行なえる制度の追加は可能か。②今年度の要綱に追加してどうか。

A ①可能。②今年度の実施は困難。



道の駅整備予定地



戸坂健一議員

ジオツーリズムの活用について

Q ジオツーリズムとは、地層や崖など地球科学的に貴重な場所を訪ね、知的好奇心を満たす新たな形態の観光旅行である。近年ジオツーリズムは人気となっており、勝浦市にも地質学的に大変貴重な「ボラの鼻」や八幡岬など有望なジオサイトが多数ある。ジオツーリズムの活用について、市執行部のお考えはどうか。

A 勝浦市が有する優れた地形、地質遺産などはジオパークとしての見学場所となるジオサイトとして潜在的な可能性を十分備えていると考える。

Q 勝浦市として、観光地魅力アップのために、「日本ジオパークネットワーク」に加盟し、公式

なジオパークとしての認定に向けて動くべきでは。

A ジオパーク認定は審査が厳しいため困難だが、優れた地形・地質遺産を観光、教育、研究資源としてどのように活用できるか検討していく。

Q ジオツーリズムの活用について、観光工商課として如何考えるか。

A 勝浦市には希少価値を持った優れた地質・地形がある。これらをうまく活用すれば、観光地魅力アップにつながると考える。今後、観光協会や関係団体と連携し、観光面での活用を考えていく。

消防団条例改正・消防団定数見直しの必要性について

Q 勝浦市消防団条例によれば、その定数は423人と定められている。しかし、少子高齢化により消防団の活動は厳しさを増しており、定員割れは大きな問題となり

つつある。現在の定数の根拠は何か。

A 定数の根拠は、各班で所有している可搬車の操作に必要な人員を割り出し、それを合算したものに予備人員・本部人員加えたものとなっている。

Q 平成26年に消防力整備指針が改訂され、ポンプの種類をもとに団員数を割り出すべきとする条文は削除されている。勝浦市の実情に即した組織体制にすべく、市消防団の新たな定数を定めるべきと考えるが如何か。

A 団員の確保が難しい現状は認識しているが、定数削減は慎重に対応しなければならない。消防団本部等と協議していく。



吉尾黒滝不整合・通称「ボラの鼻」



鈴木克己議員

元行川小学校の活用について

Q 昨年11月の障害者就労支援施設として活用したい旨の要望書を受理し、4月12日に社会福祉法人知心会に回答するまでの経過について説明願いたい。

A 11月2日・要望書受理。11月中に2回庁内委員会開催。12月2日・貸与条件を付け回答。1月10日知心会から条件についての回答。4月2日、大沢、浜行川区長と面談。4月12日、区と協議した結果、区長から貸与しないよう要望があったので貸与できない旨の回答。

Q 大沢及び浜行川区に対し、要望内容等の説明はどのように行わ

れたのか。

A 両区の区長に、庁内での検討している旨の話をした。

元行川小学校は、指定緊急避難場所だが、

現在の状況ではライフライン等が寸断されていると同時に耐震性にも問題があり避難所としての機能はない。市がこの建物等を今後どのように維持していく考えか。

A 引き続き、指定避難場所、投票所等で使用し、必要に応じ修繕等を行う。

市有遊休地の活用について

Q 浜行川地先の105万㎡の私有地は、平成27年7月6日付けで(株)エジソンパワーと勝浦市長間で地上権設定契約書が締結されているが、現在は、

(株)タカラレーベンと(株)エジソンパワーによる勝浦

興津ソーラー合同会社で事業を実施している。本年7月5日で無償貸与期間の3年が経過するが、計画事業の進捗は。

A 林地開発許可の手続き中。7月には許可を受け、8月中には着工の見込み。

Q 勝浦駅北口開発事業用地の約17.4万㎡は、

民間の開発計画を待つのではなく、積極的な対応として、道路と排水路の問題解決を行うことが必要ではないかと思うが考えは。

A 具体的開発計画がない段階での道路整備は困難。



駅北口の市有地



寺尾重雄議員

勝浦市営住宅について

Q 勝浦市に市営住宅は157世帯ありますが、最古は約60年近くたち老朽化が進んでいます。現在の入居状況、また建て替え計画についてお聞きます。

A 梨の木団地に関しては、現在の80戸から72戸に減らし、平成31年から35年に建設計画をしています。

Q 勝浦市内で空き家・空きアパートが多くみられますが、新たに市営住宅の建て替えを行わず民間から借り入れをする方法、または廃校となっている旧勝浦若潮キャンパスや他小学校などをリニューアルする方法などを行い、建設費用を抑え

ることを成功した例が多

くあると聞きましたが、勝浦市の考えをお伺いします。

A 既存民間住宅借り上げ制度が可能であれば、市内のアパート・空き家が活用できることになり財政負担が減ります。本年度調査業務委託の予算要求をしましたが、他の事情との兼ね合いで予算化されませんでした。廃校空き教室に関してですが、年数が経っている廃校も多く、各教室を区割りし、個別改修するのは、費用もかかるため住宅とする考えはありません。

「道の駅」基本計画(案)について

Q 市内全域7カ所の選定方法と「道の駅」建設に14億超の計上をしています。近隣の大多喜・鴨川・木更津など例にとっても3億から5億前

後の金額です。「道の駅」建設に反対するのではありませんが、土地整備・建築規模等コストをかけた方法を検討すべきと考えますが、勝浦市の考えをお伺いします。

A 平成29年、基本計画を策定しました。市民のアンケート調査等とめています。「道の駅」は市民活動の場として活用していただきたいと考えますので、市全体でもいろいろ議論を賜って方向性を決めていきたいと思っています。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 2年
くりはら 梨穂さん

私の将来の夢はアナウンサーになることです。その理由は、小学校の社会科見学でNHKのスタジオパークに行き、放送の世界はとても楽しそうだと感じたからです。毎朝見るニュース番組に出るアナウンサーさんは、しっかりと原稿を読んで、速報など今起きていることを慌てることなく正確に伝えているのを見て、かっこいいなと感じました。

私は今、学年生徒会として、学年をまとめる立場にいます。学年をまとめるのは大変な時もありますが、将来のために人前に出た確かな判断をできるように心掛けています。

また、普段の生活では、一日笑顔で過ごすことを心掛けています。アナウンサーの人たちのように毎日笑顔でテレビに出ている姿を見習っていききたいと思います。アナウンサーという夢に向かって、今できることを精一杯頑張っていきたいと思っています。



議会のうごきについて報告します (平成30年5月～平成30年7月)

議会のうごき

5月 1日	議会報編集委員会	14日	本会議 一般質問
8日	千葉県南部地区議会道路整備協議会総会（勝浦市）		表彰選考委員会
11日	議会運営委員会	15日	本会議 質疑
14日	農業振興地域整備促進協議会		議会改革検討委員会
16日	5月臨時会	17日	千葉県消防協会夷隅支部操法大会（いすみ市）
	議会改革検討委員会・観光振興議員連盟協議会	18日	総務文教常任委員会
18日	千葉県南市議会議長会総会（君津市）	19日	産業厚生常任委員会
22日	千葉県自治体病院経営都市議会協議会総会（千葉市）	21日	本会議 最終日
27日	芸文協まつり		全員説明会・全員協議会・議会運営委員会
29日	全員協議会・全員説明会		観光振興議員連盟総会・議会報編集委員会
	市政懇談会	25日	芸術文化交流センター運営協議会
30日	全国市議会議長会定期総会（東京都）		
	国民健康保険事業の運営に関する協議会	7月 2日	徳島県徳島市議会行政視察
6月 1日	勝浦市シルバー人材センター定時総会	4日	匝瑳市議会行政視察
2日	勝浦港カツオまつり	9日	防犯組合総会
3日	みずほ学園まつり	11日	いすみ鉄道対策協議会総会（大多喜町）
6日	議会運営委員会	12日	社会を明るくする運動夷隅地区大会（キュステ）
11日	本会議 初日	14日	観光協会海開き
	産業厚生常任委員会	19日	徳島県鳴門市行政視察・社会教育委員会議
13日	本会議 一般質問	24日	南房総広域水道運営協議会
		30日	国民健康保険事業の運営に関する協議会

編集後記

議会便り第166号をお届けします。まもなく九都県市合同防災訓練が実施されます。この議会便りを通して議会への関心が高まり、皆様の安全や防災、地域の活性化に繋がることを期待しながら編集にあたりました。

西日本豪雨被災地の1日も早い復興を願いながら・・・。

議会報編集委員 照川由美子

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会（73-6662）まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ！

勝浦カッピー

